

## 3名の方々をお招きして職業講話をしていただきました。

10月2日（木）の3，4校時に、3名の方々をお迎えして、職業講話を行いました。まゆみ農園経営の眞弓恵理子さん、阿蘇火山博物館で学芸員の豊村克則さん、アスリートクラブ熊本から渡部恒さんをお招きしました。

眞弓さんからは、農業の仕事に就くまでのお話しを、家族のことや自分の思いなどを通してお話ししていただきました。

江戸時代から続く農家であったこと、農業の仕事の中で、国際化も感じていること、実際に英語を使う場面もあることなど、子どもたちの将来に必要なお話しをしていただきました。眞弓さん、ありがとうございました。



豊村さんからは、学芸員とはどんなものか、その仕事は実際にどういうものかを話していただきました。豊村さんは、当初、学芸員になるつもりはなかったものの、いろんな人との出会いなどから、推薦されて学芸員になられたそうです。今は、阿蘇火山博物館で働いておられ、日々の噴火情報などを調査していることを教えていただきました。豊村さん、ありがとうございました。

渡部さんからは、ロアッソ熊本のサッカー選手のスケジュールや、選手が小学校の時に大切にしていたことなどを教えていただきました。また、広報という仕事がどんなものかを説明していただき、ロアッソ熊本のことを多くの人に知ってもらうことが自分の仕事であり、この日も、その仕事で来たのですよと、子どもたちに伝えていらっしゃいました。渡部さん、ありがとうございました。



# 「劇団きらら」による演劇ワークショップ

「劇団きらら」をお招きして、「演劇を使った自己表現ワークショップ」を行いました。

特に道具は使用せず、『想像力』を存分に使って表現世界を楽しむものです。

劇団員の方々の表情や声の大きさを通して、子どもたちも、表情豊かに、声の大きさの加減ができました。また、「見えない大なわ」を跳ぶ実演もあり、子どもたちは、楽しく参加できました。



「人前に出るのは、恥ずかしい」「かっこわるい」と感じる気持ちを「皆におもしろがってもらいたい」「発想を知らせたい」という気持ちに変えていく様子が見て取れました。

体育館の実演のあとは、各教室での給食も一緒に摂ってもらい、子どもたちとの交流をしていただきました。大津東小学校の子どもたちの学習に向かう姿は、とてもすばらしいと言われていました。

## 人権学習コーナー

今でも、「女だから…」などと言う人がいます。女性というだけで社会参加や就職の機会が奪われることはあってはなりません。また、女性を、パートナーからの暴力、性的な嫌がらせ、ストーカーなどから守る必要があります。

男女平等の理念は、日本国憲法に明記されており、法制上も男女雇用機会均等法などによって、男女平等の原則が確立されています。しかし、現実には今なお、例えば、「男は仕事、女は家庭」といった男女の役割を固定的にとらえる意識が社会に根強く残っており、このことが家庭や職場において様々な男女差別を生む原因となっています。

また、夫・パートナーからの暴力や職場等におけるセクシュアル・ハラスメント、性犯罪などの「女性に対する暴力」の問題も、女性の人権に関する重大な問題の一つです。